

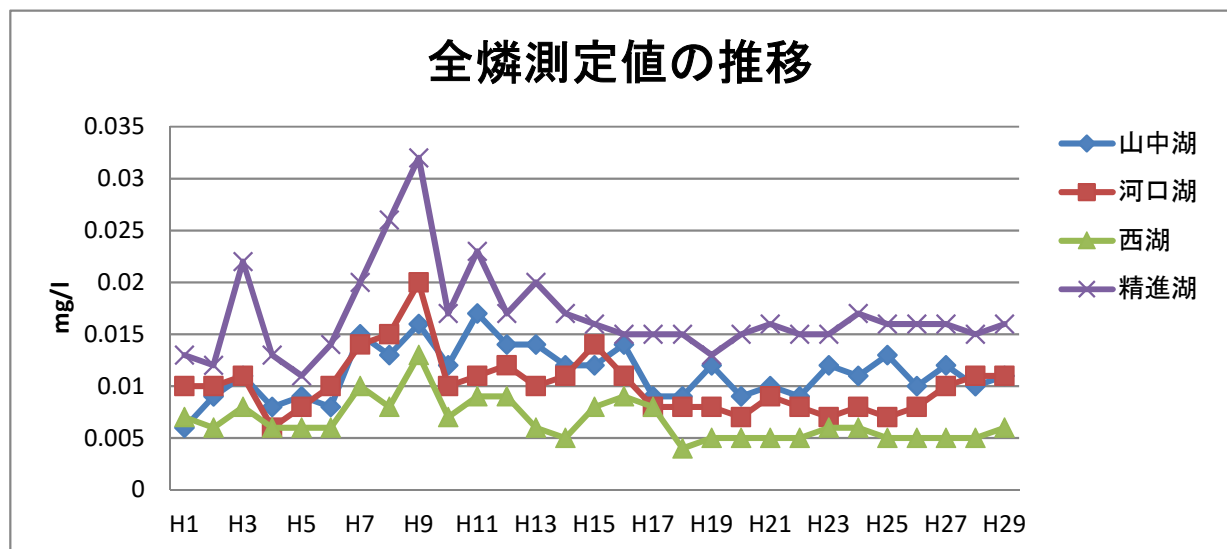
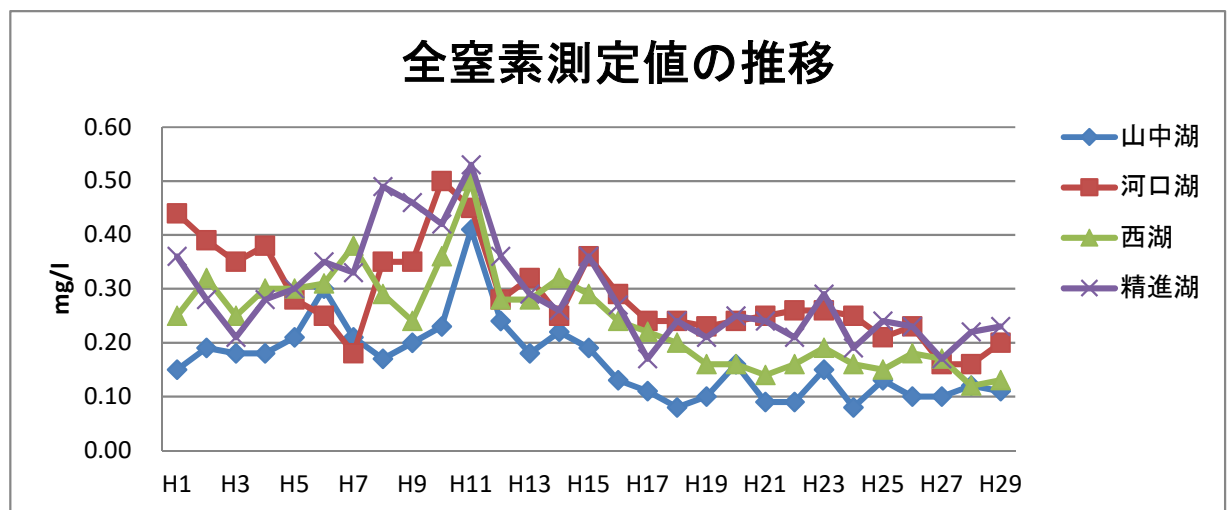
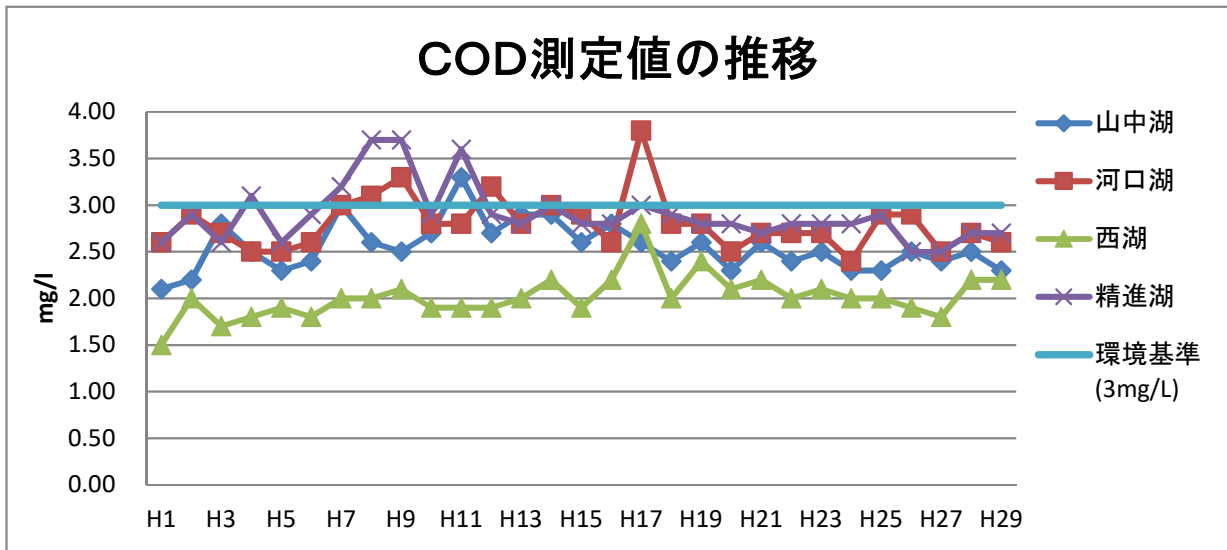
湖沼の概要

山梨県の概要	面積	約4,465km ²			
	人口	約82万人			
	世帯数	約335千世帯			
湖沼の概要	湖沼名称	山中湖	河口湖	西湖	精進湖
	面積	6.57km ²	5.48km ²	2.10km ²	0.51km ²
	集水域	65.5km ²	126.4km ²	33.0km ²	25.8km ²
	周囲	13.87km	20.94km	9.85km	6.80km
	貯水量	63.92百万m ³	53.01百万m ³	80.85百万m ³	3.50百万m ³
	最も深いところ	13.3m	14.6m	71.5m	15.2m
	特徴	山中湖は、富士五湖の中で最も広い湖面積を有しているとともに、桂川(相模川)の水源となっています。周辺には会社等の保養施設が多くあります。	河口湖は、富士五湖の中で2番目に広い湖面積を有し富士五湖観光の中心をなしています。そのため周辺の開発は富士五湖の中で最も進んでおり、定住人口も多くなっています。	西湖は、富士五湖の中で本栖湖に次ぐ容積を有しています。観光客数は山中湖や河口湖と比べて少ないため、富士五湖の中では比較的良好な水質を維持しています。	精進湖は、富士五湖の中で最も小さな湖です。西湖及び本栖湖の水位とほぼ同じであることから、これらの湖の周辺一帯が大きな地下湖的なものと考えられています。
下水道施設の概要	山梨県では、県下27市町村中24市町村で下水道事業を実施しています。湖沼を含む流域では、富士五湖のうち本栖湖を除いた山中湖、河口湖、西湖、精進湖の周辺で下水道事業を実施しています。そのうち、山中湖、河口湖、西湖周辺では県の富士北麓流域下水道事業として、精進湖周辺では、富士河口湖町の特定環境保全公共下水道事業として下水道の整備を行っています。				
	富士北麓流域下水道	当地域は富士山の北麓に位置し、その裾野にある富士五湖の観光とともに発展してきましたが、その一方で湖沼や河川の水質汚濁も懸念されました。そのため、早急な下水道の整備が望まれ、県内で初めての流域下水道事業として昭和61年に供用開始しました。			
	富士河口湖町特定環境保全公共下水道	富士河口湖町で事業を実施している公共下水道で、平成11年に供用開始しました。精進湖流域を処理区としており、砂ろ過による3次処理を行っています。			

※山梨県の人口・世帯数は、平成29年山梨県常住人口調査(平成29年10月1日現在)による。

～湖沼の水質の変化～

環境基準は、湖沼Aの指定がされており、CODの基準値は3mg/lです。平成29年度の測定結果は、COD年間平均値で山中湖2.3mg/l、河口湖2.6mg/l、西湖2.2mg/l、精進湖2.7mg/lであり、経年変化は若干バラツキがあるものの、概ね横ばいで推移しています。



※全窒素、全燐は、基準の適用なし。

(資料: 山梨県 公共用水域水質測定結果)